

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	日本・OECD事業協力信託基金拠出金		担当部局	大臣官房国際課		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度		担当課室	国際課		国際課長	永山 賀久		
会計区分	一般会計		施策名	XIV-2 国際協力の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	OECDにおける「生徒の学習到達度調査(PISA)」及び「OECD国際教育インディケータ(INES)事業」など教育分野の事業活動に参加し、我が国の教育政策上重要な課題の調査・研究を推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「生徒の学習到達度調査(PISA)」及び「OECD国際教育インディケータ(INES)事業」を行うために各国に求められる資金を拠出する。PISAは、義務教育修了段階の15歳の生徒の読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーを主要3分野として調査を実施するもの。INESは、世界各国の教育制度や政策について共通の枠組みの中で比較対照する指標(インディケータ)を開発し、各国の教育政策の形成に役立てるものである。 (OECDに対する拠出。分担率は、各国の過去3年間のGNPを基に算出。)								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予算の状況	当初予算	110	108	97	88	85		
		補正予算	△1	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	109	108	97	88	85		
	執行額	109	108	97					
執行率(%)	100.0%	99.9%	100.0%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	【定量的成果指標】設定は困難 OECDのPISA事業、INES事業への拠出金であるため、成果を定量的な数値で示すことになじまない。		成果実績		-	-	OECD/生徒の学習到達度調査(PISA)のための予備調査を実施・Education at a Glance 2011を発行	OECD/生徒の学習到達度本調査(PISA)を実施・Education at a Glance 2012を発行	
	【定性的成果指標】 OECDにおいて、PISA事業、INES事業が実施されていること。		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	【定量的成果指標】設定は困難 OECDのPISA事業、INES事業への拠出金であるため、活動指標を定量的な数値で示すことになじまない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	OECD/生徒の学習到達度調査(PISA)及びINES事業に参加	-	
	【定性的成果指標】 OECDにおけるPISA事業、INES事業に参加していること。						(OECD/生徒の学習到達度調査(PISA)及びINES事業に参加)	(OECD/生徒の学習到達度調査(PISA)及びINES事業に参加)	
単位当たりコスト	-		(円/ -)	算出根拠	OECDのPISA事業、INES事業への参加のための拠出金であり、日本及び他国からの拠出金をとりまとめて事業を行っているため、我が国からの拠出金のみに対する単位あたりコストを算出することはできない。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	ユネスコ事業等拠出金	88百万円	85百万円						
	計	88百万円	85百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の教育政策上重要な調査・研究を行う事業であり、教育分野における国際社会との比較を行うためにも重要。また、国民の関心も高い。 国際約束に基づく拠出金であり、国が実施すべき。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 国際機関であるOECDが実施する事業に対する拠出金であり、支出先は限定されている。 拠出金の分担率は、各国の過去3年間のGNPに基づき決定されているため、我が国の負担は妥当なものとなっている。 拠出金の支出先であるPISA、INESの各事業では事業計画と予算を、それぞれ我が国も参加する、PISA運営理事会、INESワーキンググループにて審議のうえ決定している。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 国際機関であるOECDが実施する調査に参加することにより、正確な国際比較や、蓄積された知見に基づく分析が可能となっており、実効性は高い。 OECDにおいて、我が国も参加の上、PISA事業、INES事業が着実に実施されており、これは活動見込みにも見合ったものである。 当事業で得られた成果物は、出版・HP掲載などにより、教育関係者、機関等に広く活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名 ー	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>国際機関であるOECDが実施する調査に参加することにより、正確な国際比較や、蓄積された知見に基づく分析が可能となっており、OECDへの拠出は適切。今後も引き続き、拠出先であるOECD事務局に適切な予算執行について要請していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、OECDにおける教育分野の事業活動に参加する際に必要な拠出金を支出するものであり、長期継続事業の観点から評価を行った。</p> <p>2. 所見：参加国の過去3年間のGNPを基に算出された分担率に基づく、PISAやINESの事業に参加するために必要な事業であることから、現行において特段の見直す点は認められず、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0427	平成23年行政事業レビュー	0016

文部科学省
97百万円

〔日本・OECD事業協力信託基金拠出金〕

【拠出金】

A.経済協力開発機構
(OECD):97百万円

〔「生徒の学習到達度調査(PISA)」及
び「OECD教育インディケータ事業
(INES)」に参加するための拠出金

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 経済協力開発機構(OECD)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	「生徒の学習到達度調査(PISA)」及び OECD教育インディケータ事業(INES) の事業運営に必要な経費	97			
計		97	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※拠出金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	経済協力開発機構(OECD)	「生徒の学習到達度調査(PISA)」及び「OECD教育インディケータ事業(INES)」に参加するための拠出金	97	-	-